

About 概

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンターは、繊維産業人材成事業の一つとして、令和2年度「尾州インパナ塾」を開講します。

この塾では、関連する大学、あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター、FDC 匠ネットワーク、地元協力企業と連携を図り、産地の将来を担う人材の育成を目指します。

尾州インパナ塾	
受講対象者	繊維産業従事者
研修内容	繊維工業の川上・川中部門である「紡績、染色、織物、ニット、整理仕上、縫製」について大学教員、経験豊富な技術者・研究員をはじめ、各分野の専門家が講義・指導します。特に後半の試作開発実習では学んできた様々な多くの知識・情報をベースにして、グループに分かれ、グループごとに開発テーマを設定し「糸染・製織・（製編）・整理仕上・アパレル製品製作」を行います。完成した作品は成果発表会で披露します。また、毎年2月に開催する総合展「THE 尾州」において静態展示します。詳細は別ページのカリキュラムをご参照ください。
日時	5月9日（開講式含む）から翌年1月までの主に土曜日に開講します。実習・インターンシップは金曜日に行います。
時間	講義時間は午前10時30分～午後4時10分で90分授業を3コマ実施します。
場所	座学 一宮地場産業ファッションデザインセンター（FDC）
	実習 あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター
	インターンシップ 地元の協力企業
設定コース	*正規受講 *部分受講（繊維工学コース・ファッションデザイン工学）
募集人員	15名
受講料	愛知県繊維振興協会賛助会員 愛知県繊維振興協会非会員
	*正規受講①
	110,000円（税込） 132,000円（税込）
	*部分受講：繊維工学コース②
	55,000円（税込） 66,000円（税込）
	*部分受講：ファッションデザイン工学コース③
27,500円（税込） 33,000円（税込）	

- ◆受講希望者は別添の受講申込書に必要事項をご記入の上、令和2年4月17日（金）までにFDCへ郵送もしくはFAXをお願いします。
- ◆「ものづくりリレー」を受講する学生は本事業を無料で受講できます。

Question and Answer

Q：「インパナ」とはどのような意味ですか？

A：「インパナ」はイタリア語「impannatore」（インパナトール）を語源としています。

繊維工業は紡績・染色・織物・ニット・整理仕上・産元商社・縫製・小売りと多岐に亘っています。

そこで各企業の個性を生かしつつ、全体を結合させ、消費者への提案・推進などの総合的な調整力を持つ方を「impannatore」と言います。

Q：「尾州インパナ塾」の目指す人材像は？

A：上述のように繊維工業の道のりは長く、様々な業種から成り立っています。

繊維の基礎からファッション、アパレル製品の製作まで学ぶ事により、インパナトールに相応しい人材を育成します。年齢制限はありません。

Q：インパナ塾修了生の声

A：実習にて実際に染色や、仕上げ加工の現場を見ることが出来たのはとても勉強になりました。また燃糸や分解、色彩心理など自分で生地やデザインをする体験ができたのもとても良い経験になりました。

A：座学で繊維産業の現状からサステナビリティ、マーケティングやトレンド、ミシンや縫製まで時間をかけて詳しく教えて頂いたことは、今後仕事をていく上で物事の捉え方や考え方、新しいアイデアなどに繋がる内容でした。

A：受講しなければ出会えなかったかもしれない他社の方々との繋がりを持てたことは、非常に良かったですし、今後も自分にとって財産になると信じます。インパナを離れてもまたどこかでお互いの力を借りる場面が出てくると思いますし、存在を意識しながら成長できたらなと思います。

A：1年がかりでものづくりについて真剣に学べる数少ない期間を過ごすことができたことと実際に終えてみて感じました。尾州産地、一宮市ならではの素晴らしい機会だと思います。

A：チャンスは誰の前にも平等に通っていきます。インパナを受講するチャンス、人脈を広げるチャンス、勉強するチャンス、成長するチャンスなどチャンスはどんどんつかんで行けば良いと学びました。客観的に自分を見つめることができる良い機会だったことは間違いありません。チャレンジしてみえることもたくさんありますし、私としては社外に人脈が増えたことが何より財産になると思います。

〒491-0931 愛知県一宮市大和町馬引字南正亀4-1

公益財団法人 一宮地場産業ファッションデザインセンター 尾州インパナ塾担当 野田